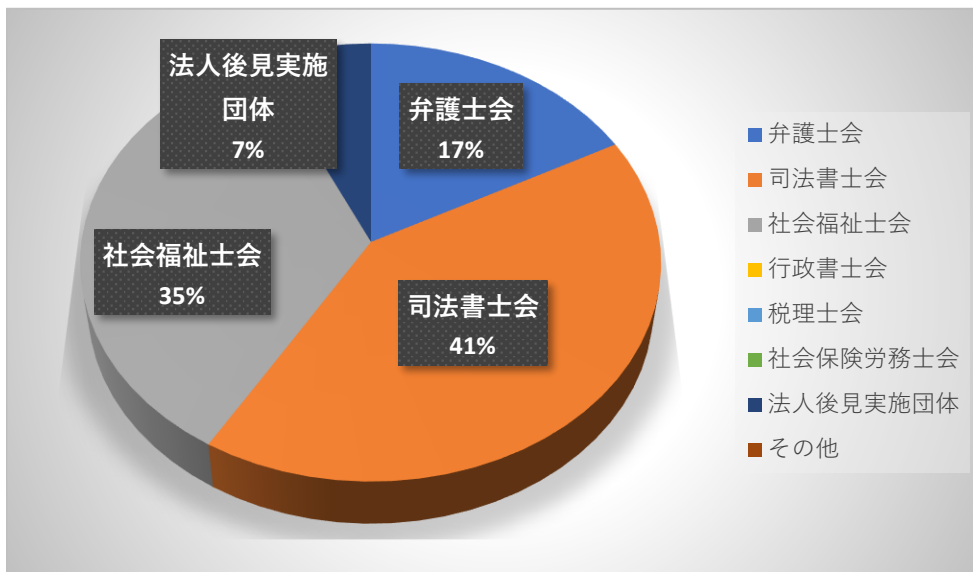


当事者団体・福祉関係者のニーズを把握するためのアンケート

1. 対象：法人後見実施団体、三士会（弁護士会、司法書士会、社会福祉士会）
2. 実施期間：令和6年6月10日から令和6年7月31日
3. 対象者数：法人後見実施団体：2法人
三士会：不明
4. 回答者数：法人後見実施団体：2法人（回答率100%）
三士会：27名
（弁護士法人については対象者数不明）
5. 実施方法：市内の法人後見実施団体、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会に依頼。弁護士会、司法書士会、社会福祉士会それぞれから各会員に依頼をして回答をもらった。

問1 あなたの所属はどちらですか。

項目	項目	回答数	%
1	弁護士会	5	17.2
2	司法書士会	12	41.4
3	社会福祉士会	10	34.5
4	行政書士会	0	0.0
5	税理士会	0	0.0
6	社会保険労務士会	0	0.0
7	法人後見実施団体	2	6.9
8	その他	0	0.0
	全体	29	100.0



問2 成年後見制度の利用促進について、法律や国の基本計画をどの程度ご存知ですか。

	項目	回答数	%
1	よく知っている	3	10.3
2	知っている	16	55.2
3	あまり知らない	10	34.5
4	全く知らない	0	0.0
	全体	29	100.0

問3 国の基本計画における、チームや地域連携ネットワークはご存知ですか。

	項目	回答数	%
1	よく知っている	1	3.4
2	知っている	17	58.7
3	あまり知らない	10	34.5
4	全く知らない	1	3.4
	全体	29	100.0

問4 令和6年6月末現在、受任しているケースは何件ですか。
うち、豊川市の方は何人ですか。

	項目	受任ケース	うち豊川市の方
1	成年後見人等	277	86
2	後見監督人等	14	0
3	任意後見人	1	0
4	任意後見監督人	0	0
	合計	292	86

問5 新規の就任依頼の可否について、教えてください。

	項目	回答数	%
1	ある程度可能	12	41.4
2	随時可能	2	6.9
3	対応不可	15	51.7
	全体	29	100.0

問6 成年後見人等として受任の依頼があった際、困難と思われたことはありますか。

	項目	回答数	%
1	ある	23	79.3
2	ない	6	20.7
	全体	29	100.0

問7 受任が困難と思われた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

〈複数回答〉

	項目	回答数	%
1	すでに複数受任しており、これ以上受任できない	12	29.3
2	報酬がみこめない	5	12.2
3	本人の財産管理上の課題が多く、一人では対応しきれない	3	7.3
4	本人の身上保護上の課題が多く、一人では対応しきれない	10	24.4
5	親族間に複雑なトラブルを抱えており、一人では対応しきれない	8	19.5
6	支援者間で対立があり、どの支援者と連携すればよいか分からない	0	0.0
7	その他	3	7.3
	全体	41	100.0

〈その他〉

- ・仕事と割り切っているが、相性があり、たぶんお互いストレスをかかえながら付き合っている。
- ・後見業務に割く時間がない。
- ・後見以外の業務量との兼ね合いあり。

問8 受任が困難と思われた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

〈複数回答〉

	項目	回答数	%
1	本人との意思の疎通	13	23.2
2	本人の親族とのやりとり	19	34.0
3	本人の資力がない	11	19.6
4	本人が利用している施設等との関係	5	8.9
5	本人にふさわしい福祉サービスが分からない	1	1.8
6	本人が抱える法律行為が煩雑である	6	10.7
7	本人が抱える課題に対し相談先が分からない	0	0.0
8	難しいと感じることはない	0	0.0
9	その他	1	1.8
	全体	56	100.0

〈その他〉

- ・親身になりすぎてしまう。

問9 後見業務を行う上で、困った時の相談先はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

〈複数回答〉

	項目	回答数	%
1	所属団体の成年後見制度相談窓口	15	31.3
2	家庭裁判所	21	43.7
3	中核機関	6	12.5
4	他の専門職後見人団体	1	2.1
5	相談したことがない	0	0.0
6	その他	5	10.4
	全体	48	100.0

〈その他〉

- ・事業所の上司、先輩、同僚
- ・同職
- ・同業者、弁護士
- ・先輩の司法書士
- ・成年後見業務に精通している同じ専門職

問10 後見業務を行う上で、親族や支援者と連携したことがありますか。

	項目	回答数	%
1	ある	28	96.6
2	ない	1	3.4
	全体	29	100.0

問11 どのような支援者と連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

<複数回答>

	項目	回答数	%
1	親族	26	19.6
2	福祉相談センター(地域包括支援センター)	15	11.4
3	障害者相談支援センター(基幹センター)	9	6.8
4	ケアマネジャー	15	11.4
5	相談支援専門員	12	9.1
6	福祉サービス事業所	8	6.1
7	入所施設	21	15.9
8	病院	17	12.9
9	民生委員・児童委員	4	3.0
10	行政	5	3.8
11	その他	0	0.0
	全体	132	100.0

問12 どのように連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

<複数回答>

	項目	回答数	%
1	ケース会議に参加している	12	18.8
2	ケアマネジャー、相談支援専門員、福祉サービス事業所と連絡を取り、サービスの内容について相談している	19	29.7
3	親族に対し、定期的に本人の状況などを報告している	15	23.4
4	自治会などの地域の話し合いの場に参加している	0	0.0
5	本人の状態に変化があった場合、対応について一緒に考える	18	28.1
6	その他	0	0.0
	全体	64	100.0

<その他>

- ・本人の財産と収入、後見等の業務の活動量に応じた報酬の決め方にいささか疑問をもっている。
- ・活動量は最も大事だが、ただ、財産管理するだけで得る報酬単価を下げるべきではないと思っている。
- ・案件による。ただし、市民後見人を養成し、なり手を増やすべきだと思う。
- ・ケースバイケース

問13 専門職後見人から市民後見人や親族等へのリレーについてどのように考えられますか。

＜複数回答＞

	項目	回答数	%
1	専門職後見人が関与すべき課題が解決したら、積極的に市民後見人や親族等にリレーすることが望ましい。	10	27.8
2	家庭裁判所が後見人を選任する段階で、リレーを予定する市民後見人や親族等をあらかじめ複数後見人として選任し、専門職後見人が関与すべき課題が解決したら専門職後見人が辞任することが望ましい。	14	38.9
3	専門職後見人が関与すべき課題が解決した段階で、本人との関係がうまくいっていないなど、後見人の交代が適当なケースについては、市民後見人や親族等にリレーすることが望ましい。	8	22.2
4	家庭裁判所が専門職後見人を選任した案件については、引き続き、専門職後見人が後見業務を担うことが望ましい。	0	0.0
5	その他	4	11.1
	全体	36	100.0

＜その他＞

- ・本人の財産と収入、後見等の業務の活動量に応じた報酬の決め方にいささか疑問をもっている。
- ・活動量は最も大事だが、ただ、財産管理するだけで得る報酬単価を下げるべきではないと思っている。
- ・案件による。ただし、市民後見人を養成し、なり手を増やすべきだと思う。
- ・ケースバイケース

問14 中核機関に期待することをお聞かせください。

- ・豊川市内で後見等活動する専門職、団体の活動を知ってもらいたい。
- ・そして一緒に悩み苦しむ喜び合う機会が持てればと思っている。
- ・国から言われたことだけやっているのではなく、豊川市内で利用者を支えている人だけの活動にもっと目を向けてほしい。
- ・ここ豊川は広域連合の中でも活動しやすい場所、街であると思っている。
- ・今後の豊川市独自の活動に期待している。
- ・ご本人と候補者とのマッチング、情報提供、民間私人では情報収集に限界がある。
- ・親族後見人への日常的な後見業務の支援。
- ・市民後見人の育成と支援・監督。
- ・家裁との連携。
- ・後見人がひとりぼっちにならないような支援を行ってほしい。
- ・後見人等への支援と人材(権利擁護)育成。
- ・市民後見人等受任可能対象者を増やす施策をすすめていただきたい。
- ・本人及び支援機関からの要望、意見をきちんとむきあってほしい。
- ・専門職の方が後見制度について詳しい場合もあるので、指導云々ではなく、一人では困難なケースに対しての協力機関として、存在してくれるのが望ましい。受任が決まったケースも半永久的にフォローしてもらえるとありがたい。
- ・人口減少によりマンパワー不足は否めない。
- ・AIを活用して人への負担を減らす努力は不可欠と考える。
- ・AI活用→ケーススタディをAIによって行い、ボットによる自動応答で処理可能な範囲を増やす。
- ・下手な市民後見人よりAIのほうが優秀になる時代になっている。
- ・後見人に就任した際、行政機関や金融機関、施設、病院等への登録や届出を行いますが、時々、後見人制度の周知が不十分に感じる場合があります。そういった方面にもPRしてもらえたらありがたいと思います。
- ・市民後見人(担い手)の育成や活躍の支援。
- ・積極的な情報発信。
- ・ハブとしての役割。
- ・成年後見等についての相談業務の充実。